

燕中等STYLE ~Be Glocal

燕中等教育学校

創刊記念号

発行所
スワローNIIGATA



燕中等教育学校の生徒会は、飛燕祭(体育祭)や秋燕祭(文化祭)など、毎年多くの行事を運営しています。その活動の中で私が学んだのは、協力しあうことの大切さです。私は行事を運営する側として、さまざまな行事がゼロから組み上げられていくのを間近で見ると同時に、実際に活動もしてきました。まだまだ分からないことが多く、不安なことは少なくありませんでした。



しかし視野を少し広げてみれば、私の周りにはたくさん頼もしい仲間がいることに気が付きました。生徒会のメンバー、先生方、そして生徒。今までの行事の成功は、このたくさんの人たちがいなければ成し得なかったことだと、強く実感しました。生徒会長を務める今、私には何が出来るでしょうか。私一人の力は小さくても、一人一人が力を合わせれば大きなものになると思います。力を合わせるこの大切さを心に留め、これからも活動を続けていきます。

生徒会長 渡邊 仁南

Glocal部の さまざまな取り組み

Glocal部は、本校のスクールポリシーの通り地域に根ざし、世界に視野を広げた活動を行っています。特に国際交流や国際理解に力を入れています。

国際交流の面では、オーストラリアやアメリカなどさまざまな国から来る留学生に地域や日本のことを紹介しています。英語に苦手意識を持っていく部員もいますが、次第に会話を楽しくめるようになり、とても仲良くなれます。

国際理解の面では、国際理解教育プレゼンテーションコンテストに出場して国際問題について学んだり、書き損じハガキや募金への協力を呼びかけて、集まった分をユネスコに寄付しています。

スポーツ部活動も燕中等STYLE!

女子バスケットボール部は、中学一年生から高校三年生の部員が一つのチームとして活動しています。バスケット未経験で入部する学生が多いため高校生が中学生に教える場面が多々あり、チームとして力を付けることにつながっています。仲の良さも自慢で、



また、文化祭ではフェアトレード商品を販売し、生産国の貧しい人々の少しでも役に立ちたいと思っています。このような活動以外にも、海外のイベントを実際にやってみたり、英語会といつて英語にもっと親しむために部員が考えたゲームを行っています。これからさまざまな形で地域と世界を繋げていきたいです。

Glocal部
部長 向井萌笑

縦のつながりを大切にしながら和気あいあいとした雰囲気練習しています。私たちは週三回しか練習することができません。そのため、限られた時間でどれだけ集中して濃い活動にできるかを考えています。部活で鍛えた集

中力を勉強に活かし、学習と部活動の両立も大切にしています。どちらも手を抜かず全力で取り組み、何事もあきらめないでやりきる気持ちを持ちつけていきます。

女子バスケットボール部
部長 柴山 凜奈

私たちの学校には空手道部があります。他の学校より練習量が少ない分、一回一回の練習に集中して熱心に取り組んでいます。最近では外部コーチの方にも来ていただき、上級生にとっても初級者にとっても充実した練習になっています。

そして、中学生の部員がいることで高校生は元気をもらい、また高校生は中学生の手本となるように行動することで、お互いの良いところを吸収でき、よりよい部活動にすることが出来ます。これからも、燕中等の空手道部だからこそ学べることを、できることを増やしていきたいです。

空手道部
部長 田伏 叶愛

